

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月16日

計画の名称	連続立体交差事業の推進による、安全安心でにぎわいのあるまちづくり(その2)(交通拠点連携集中支援)												
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度(5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神戸市												
計画の目標	連続立体交差事業の推進により、踏切道の除却等を進め、都市交通の円滑化を図り、安全安心でにぎわいのあるまちづくりの実現をめざす。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	9,200	A	9,200	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)	最終目標値 (H34末)
1	幹線道路の渋滞減少率 幹線道路の渋滞減少率 { 1 - (H34幹線道路の踏切渋滞長) / (H28下り線高架切替え後の幹線道路の踏切渋滞長) } × 100	0%	%	100%
2	消防・救急の円滑化 消防・救急の円滑化 事業により緊急出動時の移動が円滑になったと感じた消防署員の割合(東灘消防署が対象)	0%	%	90%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
神戸市強靱化計画に基づき実施される要素事業：全て								

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	H32	H33	H34			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	神戸市	直接	神戸市	S街路	改築	阪神本線連続立体交差事業(住吉駅~芦屋駅付近)	連続立体交差 L=4.0km	神戸市						9,200	1.02	-
国債設定(予定)期間:-																			
											小計						9,200		
											合計						9,200		

事前評価チェックシート

計画の名称： 連続立体交差事業の推進による、安全安心でにぎわいのあるまちづくり（その２）（交通拠点連携集中支援）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性 1) みちづくり計画等の上位計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容との整合性等 1) 事業内容は、計画の目標を達成するうえで適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容との整合性等 2) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	R1	R2		
配分額 (a)	5,552	1,560	1,201		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	5,552	1,560	1,201		
前年度からの繰越額 (d)	1,000	2,689	1,195		
支払済額 (e)	3,863	3,054	1,943		
翌年度繰越額 (f)	2,689	1,195	453		
うち未契約繰越額(g)	7	32	89		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0.1	0.7	3.7		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					